感染症情報　9月8日～14日

府下小児科185医療機関（堺市17）から

①感染性胃腸炎	655例（堺市	30例）
②RSウイルス感染症	374例（堺市	35例）
③伝染性紅斑	313例（堺市	27例）
④溶連菌感染症	220例（堺市	19例）
⑤咽頭結膜熱	100例（堺市	7例）

府下291医療機関（堺市25）から

インフルエンザ	226例（堺市	15例）

報告数の順位。前週比0．8％減の1，925件。感染性胃腸炎は府下で前週712例→今回655例、堺市で前週29例→今回30例。RSウイルス感染症が府下で299例→374例、堺市で22例→35例。伝染性紅斑が府下で339例→313例、堺市で25例→27例。溶連菌感染症が府下で247例→220例、堺市で31例→19例。咽頭結膜熱が府下で69例→100例、堺市で6例→7例。

インフルエンザは府下で前週105例→今回226例。堺市で前週2例→今回15例であった。定点当たりは0．78と0．60。全数把握疾患の百日咳は大阪府で48例→33例で、堺市は前週・今回とも0例。今年入ってからの府内の累積報告数は2，780例となった。

府下291医療機関（堺市25）から

新型コロナウイルス感染症　1，961例（堺市　254例）
大阪府定点　6．74　　堺市定点　10．16

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で1，656例→1，961例（18％増）、定点当たり5．69→6．74。堺市で139例→254例（83％増）、定点当たり5．56→10．16であった（府下ワースト2）。

府下291医療機関（堺市25）から

急性呼吸器（ARI）感染症　11，738例（堺市　1，104例）
大阪府定点　40．34　　堺市定点　44．16

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より10，643例→11，738例（10％増）、定点当たり36．57→40．34、堺市で1，003例→1，104例（10％増）、定点当たり40．12→44．16であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。